

# ピンチの研修医

～聖路加チーフレジデントがピンチの研修医を救出します～

聖路加国際病院 血液内科部長

編集 ● 岡田 定

聖路加国際病院 内科チーフレジデント

執筆 ● 夏本 文輝 岡本 武士  
松尾 貴公 北田 彩子

第12回

## 海外帰りの発熱

北田 彩子

### エピソード1

#### ピンチの研修医

—ある当直の夜。

研修医 : 先生、フィリピンから帰国されたばかりの42歳の日本人女性ですが、発熱を主訴に来られています。熱源が不明で、全身状態も悪く、救急外来から入院を依頼したいのですが。

チーフレジ : お疲れさま！なるほど。フィリピン帰りの渡航者だね。それでは病歴に関して詳しく聞かせてもらおうかな。熱源がどこにあるのか、問診だけでどこまで迫れているの？

研修医 : はい、来院の2週間前からフィリピンへ渡航し、1週間滞在。1週間前にフィリピンから戻ってきて、来院前日から全身倦怠感が出現し、来院当日に発熱があったので、救急外来を受診されています。

チーフレジ : そうだね、他に症状は？プレゼンでは、感染のフォーカスを相手に想像させるように話さないといけないよ。それには陽性所見はもちろん、呼吸器症状がない、尿路刺激症状がない、といった陰性所見にも言及することが大切だよ！これは pertinent negative といって、診断に寄

### 今回の肝

1. 海外帰りの発熱をみたら、輸入感染症の前にまず一般感染症を考える
2. 大事なのは、潜伏期間、渡航地、曝露歴
3. マラリアは除外できるまで鑑別から外さない

与する重要な情報なんだ。

研修医 : はい、喀痰・咳嗽はなく、頭痛、咽頭痛、関節痛、腰痛、腹痛・下痢もありません。頻尿や排尿時痛、排尿困難などありませんでした。

チーフレジ : なるほど。それでは渡航に関する情報はどのなの？

研修医 : 友人と団体ツアーでの参加だったそうです。蚊には刺されたかもしれないとのことでした。現地ではとくに下痢はなかったようです。他には……海外帰りの旅行者は、診察するのが初めてで……。何を聞けばいいかわかりませんでした。

チーフレジ : そうだね。私も海外帰りの患者さんを初めてみたときは、準備していなかったから、聞くべきポイントを押さえられなくて、先輩に怒られたのを覚えているよ。

研修医 : うー、すみません。

チーフレジ : 大丈夫。この機会に勉強していこうね！

研修医 : はい！

### 海外帰りの患者さんの初めての診察

渡航歴に気をとられ、全身の熱源検索がおろそかに！

マラリア？  
デング？

### チーフレジの救出

チーフレジ : まず押さえておきたいことは、海外帰りの発熱ということで珍しい輸入感染症を疑う前に、commonな熱源の検索をしっかりしよう、ということだね！それでは一緒に診察しにいこうか。

研修医 : はい！

もう一度問診をとり直すと、腎盂腎炎の既往があり、1か月前に新しいパートナーができたとのことであった。身体所見では右の腎把握痛がありそうである。尿中白血球も2+であった。

チーフレジ : 腎把握痛には気がついたかな？

研修医 : CVA(肋骨脊椎角)叩打痛は陰性だったのですが、たしかにこうしてみると、再現性をもって痛がりますね。

チーフレジ : 尿のグラム染色もやってみよう！

研修医 : そうですね、やっていませんでした。

尿グラム染色では腸内細菌様のグラム陰性桿菌(gram-negative rods ; GNR) およびその貪食像がみられた。

研修医 : 発熱、腎把握痛、細菌尿からは、急性腎盂腎炎ということだよさそうだね。一応、閉塞機転がないかなどの検索目的にエコーをあてて、水腎症の有無もみておこうか。

チーフレジ : はーい！

**Common disease は common !**  
海外帰りの発熱でも輸入感染症を疑う前に、全身の熱源検索を！

### エピソード2

#### ピンチの研修医

研修医 : この患者さんはUTI(尿路感染症)でしたが、渡航にまつわることで聞くべきポイントはどんな点でしょうか？

チーフレジ : そうだね、大事なのは「渡航地」「潜伏期」「曝露歴」だよ！まずは渡航地からいってみようか！

研修医 : この方はフィリピンですね。

チーフレジ : フィリピンのどこかは聞いた？

研修医 : ツアーだと言っていたので、メジャーな都市に行っていないと思うのですが……詳しくは聞いていません。

チーフレジ : 具体的な地名をチェックするのが大事だよ。都市部なのか田舎なのかでも、疑う疾患が変わってくる。また、そこでおこなったアクティビティも確認するといいいね。